

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年 4月 26日

事業所名 ブランケット

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	87.5%	12.5%	0.0%	児童の成長に応じて狭さを感じることもあるが、活動の設定から分散して過ごせるよう環境構成をしている
	2	職員の配置数は適切である	75.0%	25.0%	0.0%	職員数は適切だが児童の特性に応じた環境構成を行う必要がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50.0%	50.0%	0.0%	児童の成長にあわせて必要な箇所もあるが、その他の方法で対応がとれている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0.0%	0.0%	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	87.5%	12.5%	0.0%	集計結果を会議等で開示し、スタッフ間で周知を行っている。年度末に行っている為、回数を増やしても良いのではないかと検討中
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0.0%	0.0%	SNSを活用して情報の開示を行っている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	37.5%	25.0%	37.5%	第三者評価を実施していない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0.0%	0.0%	虐待防止研修やその他研修など定期的に実施している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0.0%	0.0%	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0.0%	0.0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0.0%	0.0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	87.5%	12.5%	0.0%	社会情勢により行えていなかった活動を少しずつ再開し軸となる活動に加えて固定しないよう設定を行う
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	87.5%	12.5%	0.0%	児童のアセスメントに合わせた課題の設定とスタッフ間で情報の共有から課題の再設定を都度行う
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0.0%	0.0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0.0%	0.0%	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	25.0%	75.0%	0.0%	支援終了後、毎日行っていないが共有が必要な事項については翌日に必ず行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	87.5%	12.5%	0.0%	個別ファイルの使用方法を再設定する必要がある
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0.0%	0.0%	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	87.5%	12.5%	0.0%	軸になる活動と組み合わせることで余暇時にも実験やSSTなどの活動を行う	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	87.5%	12.5%	0.0%	最近の様子など、気になることについてご連絡を頂いた際は 管理者や主任が対応を行っている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	100%	0.0%	0.0%	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	12.5%	50.0%	37.5%	対象児童が居ない為、未実施
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	62.5%	25.0%	12.5%	必要に応じて行う
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	87.5%	12.5%	0.0%	必要に応じて行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	62.5%	37.5%	0.0%	専門機関との連携は希望に応じて行い、 情報や支援の統一を行っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	12.5%	37.5%	50.0%	近隣の公園散歩の際に、 一緒になって遊びを行うことがある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	25.0%	25.0%	50.0%	自立支援協議会への参加をしていない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	100%	0.0%	0.0%	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	87.5%	12.5%	0.0%	家庭や園、デイでの様子など 保護者様からの発信に応じて行う	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	100%	0.0%	0.0%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	100%	0.0%	0.0%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	0.0%	62.5%	37.5%	社会情勢により実施が難しい年が続いたが 令和5年度は実施の予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	87.5%	12.5%	0.0%	申し付をいただいた際に状況確認をし、 早急に対応が行えるよう体制の整備を行っている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	100%	0.0%	0.0%	SNSを活用している
	35	個人情報に十分注意している	100%	0.0%	0.0%	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0.0%	0.0%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	12.5%	0.0%	87.5%	活動への招待を行うことは難しいが、 農作業の活動を通して地域の方と交流する機会がある。 また他事業所との交流機会は都度設定している

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0.0%	0.0%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0.0%	0.0%	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0.0%	0.0%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	87.5%	12.5%	0.0%	対象児童が居ない為、未実施
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0.0%	0.0%	クッキング時など、アレルギー対応を行った食材の選定から活動への参加が行えている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	87.5%	12.5%	0.0%	周知した後に再発防止に向けた改善等の設定が必要